

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

先週金曜日のドルレアルスポット相場はレアル買い介入にもかかわらずレアル大幅安となる展開でした。前日に中銀からのドル売りスワップ介入予告があったものの、ブラジル経済への懸念は根強く朝方から2.35台へレアルは売られる展開となりました。実際に一部のロールオーバー分が介入として実施されましたが、マーケットへの影響は限定的でレアルは2.35台でのじり安推移を続けました。2.36台へ乗せたところで新規分のスワップ介入が実施されたため2.35台後半へ戻す局面もありましたが、マンテガ財務相がレアル安は輸出振興に良い旨の発言を行ったため再びレアル売り優勢となり2.37台へ乗せました。その後も終日レアル安圧力は続き、結局2.39台前半へレアル大幅安となって引けています。

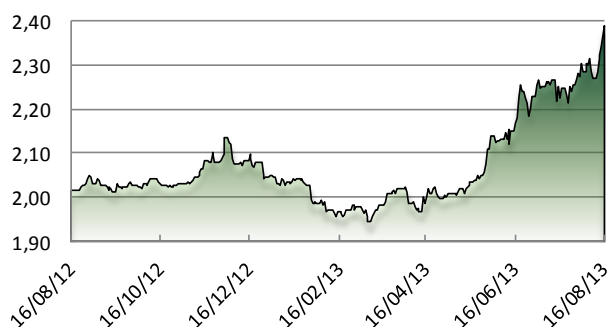
レアルは支えがなくなったかのように大幅続落となりました。介入が実施されてもロールオーバー分は無視され、新規分も焼け石に水の状態です。米国の緩和策縮小観測による影響もあることは確かですがブラジルの低成長・高インフレ懸念がレアル安と共に悪循環へ陥り、ブラジルへの信認が崩れている状態です。(ご参考までに新興国通貨売りが顕著になった5/23のバーナンキ発言からここまでの主要新興国通貨騰落率を下に掲載致します。)ブラジル売りの様相を呈しているにもかかわらずマンテガ財務相はレアル安が好都合のような発言を繰り返し、投資家からの信認が傷ついていることに無頓着です。今後は新しいレンジに入ってきて目処が見つけにくいことや介入も増えることが想定されるため、ボラティリティが高まることが予想されますが根本のレアル安圧力は続いていくでしょう。

マーケットデータ

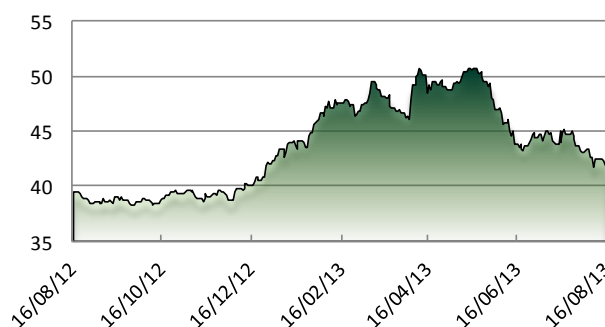
Indicator	Unit	8月15日	8月16日	前日比	7月16日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	41,59	40,76	-0,83	43,97	-3,21
USD / BRL Spot	BRL	2,3407	2,3925	+0,0518	2,2538	+0,1387
USD / JPY Spot	JPY	97,37	97,53	+0,16	99,10	-1,57
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	50.908	51.539	+631	46.869	+4.670
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	195,3	207,9	+12,6	175,6	+32,3
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	11,57	11,74	+0,17	10,65	+1,09
DI Future Apr14 (金利先物)	%	9,31	9,52	+0,21	8,92	+0,60
3 Months US Dollar Libor	%	0,263	0,264	+0,001	0,266	-0,002
CRB Index (国際商品指数)	Index	292,5	292,5	+0,0	288,5	+4,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊社担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



2013年5月23日から2013年8月16日までの主要新興国通貨対米ドル騰落率(%)

